

RYOBI®

発電機

GRX-1600A.GRX-2300 .GRX-2703

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

当社の製品をお買上げくださいますてありがとうございます。

- ◆この機械は、エンジン発電機（以下「機械」という）です。
この取扱説明書は、機械を安全に使用していただくために、また、正しく取扱っていただくために説明してあります。
万一機械の取扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には、必ず本書をお読みください。

この取扱説明書について

- ◆安全を確保するために、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取扱いを行える知識技能を有する人が本製品の取扱いをしてください。
- ◆機械を他人に貸したり、使わせる場合は、取扱方法を必ず説明し、また、あらかじめこの「取扱説明書」を読むよう指導してください。
- ◆製品の保証は付属の製品保証約款によりますのでご覧ください。
- ◆使用中にいつでもご覧いただけますよう、所定の場所に保管してご活用ください。
- ◆エンジンの詳細な取扱い、整備方法などにつきましては、別冊のエンジン取扱説明書をご覧ください。但し、本文に重複する項目については、この取扱説明書にしたがってください。
- ◆この機械は車両設置はできません。車両設置する場合メーカーにご相談ください。
- ◇本書が汚損などで読めなくなった場合、担当営業所にご相談の上入手してください。
- ◇装備仕様の変更などにより、本書の内容があなたの機械と合わないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◇お買上げ時点で下記に担当営業、サービス工場、製造番号をご記入ください。
『この取扱説明書の末尾に営業所の案内が記載されています。』

ご不明な点、お気づきの点、また、整備内容について詳しくお知りになりたいことがありましたら何なりとご相談ください。

相談窓口
担当営業所
サービス工場











あなたの機械は

型 式： GRX-1600A. GRX-2300. GRX-2703.

製造番号： _____ です。

- * 装備仕様の変更などにより、本書の内容があなたの機械と合わないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◇本書内のイラストは「GRX-1600A」を基本にしてありますが「GRX-2300」や「GRX-2703」などの場合もありますのでご注意願います。

<input type="checkbox"/>	安全に使用していただくために		
1	各部の名称		使う前に知っておきたいこと
	1-1. 外観と各部の名称		4
	1-2. 操作盤と各部の名称		5
2	運搬、設置		運搬と設置する場合は
	2-1. 機械の運搬についての注意		6
	2-2. 機械の設置上の注意		6
3	運転方法		発電機を動かすには
	3-1. 始業点検		8
	3-2. 始動及び運転		9
	3-3. 停止		10
	3-4. 停止後		11
4	発電機の操作		
	4-1. 電源について		12
	4-2. 使用できる電気容量について		12
5	定期点検と整備		よい状態に保つために
	5-1. 初回の20時間の点検と整備		14
	5-2. 50時間ごとの点検と整備		14
	5-3. 200時間ごとの点検と整備		15
	5-4. 500時間ごとの点検と整備		15
	5-5. その他の点検と整備		15
	5-6. 機械の点検		15
6	故障の原因と対策		もしも、不調になったら
	6-1. エンジンの不調と処置方法		17
	6-2. 故障診断書		18
7	機械の長期保管		長期に保管する場合の手入れ
8	サービス データ		サービス データ
	8-1. 外形図		20
	8-2. 主要諸元		22
	8-3. 発電機結線図		23
	8-4. 付属品		24
<input type="checkbox"/>	営業所のご案内		

安全に使用していただくために

◆本文のシグナルワード

危険：取扱いを誤ると死亡又は、重傷を負う可能性がある場合。

注意：取扱いを誤ると中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合及び物的な拡大損害が発生することが想定される場合。

【注意】：機械を効率よく、出来る限り長期にご使用していただくため、取扱い上注意していただきたい事。

ここには、安全に関する重要な項目をあげています。
お使いになる前に、必ず読んで、安全で快適な作業にお役立てください。

【禁止事項】

- 機械を勝手に改造しないでください。安全を損なったり、機能や寿命の低下の原因となります。
- 無断で改造した場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。

尚、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

危険：排気ガスによる中毒

エンジンの排気ガス中には人体に有害な成分が含まれています。トンネル、屋内など、通気の悪い所で運転しないでください。運転する場合は換気装置などを使い十分な換気を行ってください。また絶対に、通行人、民家等に排気を向けない事。

もし怠ると酸欠あるいは、有毒ガスにより重傷もしくは死亡することがあります。



注意：火 災
燃料、オイルなどは可燃物です。機械に火気を近づけたり、サンダーの火花が降りかかる所での使用や給油中のくわえタバコ、運転中の給油は絶対におやめください。

引火、もしくは発火し火災の原因となり火傷の恐れがあります。



注意：火 傷
運転中又は、停止直後などに、高温となるエンジン本体や、マフラ周辺の高温部には絶対に手を触れないでください。
また、運転中オイルゲージをはずしますと、高温のエンジンオイルが吹き出します。
機械の点検、整備は、必ずエンジンを停止してから行ってください。

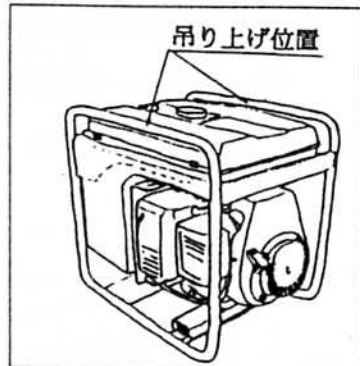
もし怠りますと火傷します。



! 注意

- ：吊り上げ時の落下
- 機械の吊り上げは、パイプフレームの右図の個所を使用してください。
 - 吊り具は、吊り上げ時の荷重に十分に耐えられるものを使用し、吊り上げ時に滑らないように適切な処置を施してください。
 - 吊り上げ時には、まず機械を10cm程吊り上げほぼ水平になっていることを確認してから吊り上げてください。
 - 吊り上げた機械の下に入らないでください。

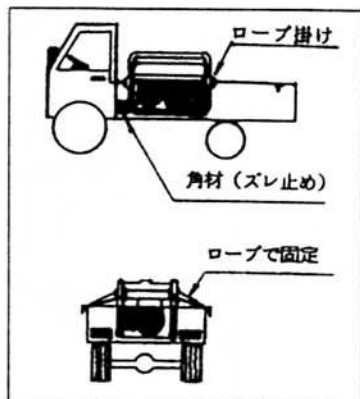
怠ると機械が落下します。



! 注意

- ：運搬時の落下
- 機械をトラックなどで運搬する時は、パイプフレームをロープ等で固定して機械を動かさない様にしてください。

怠ると機械が落下します。



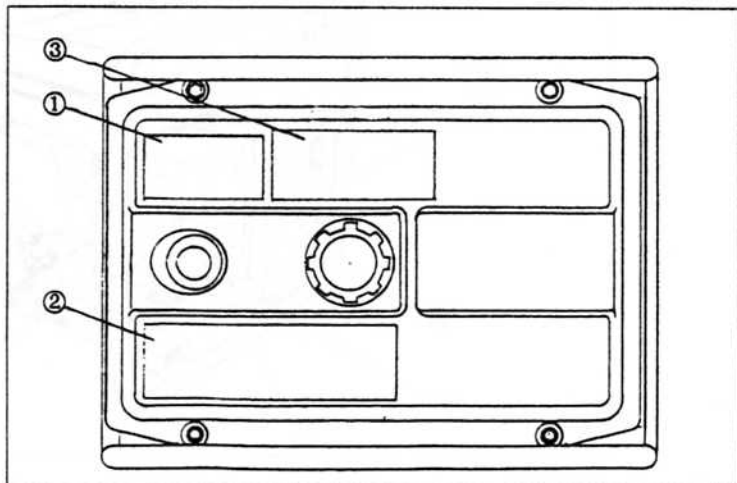
【注意】：重量物ですので手で持ち上げると思わぬ傷害を起こす事があります。

警告銘板貼付け位置

【注意】：この銘板は指定された所に貼ってあります。銘板が見にくくなった時、ご注文ください。

「この警告銘板を注文する場合は下記の（ ）枠内の番号で当社へご注文ください。」

- ① 警告ラベル (S-5097)
- ② 危険・注意 (S-5098)
- ③ オイル・燃料補給 (S-5100)

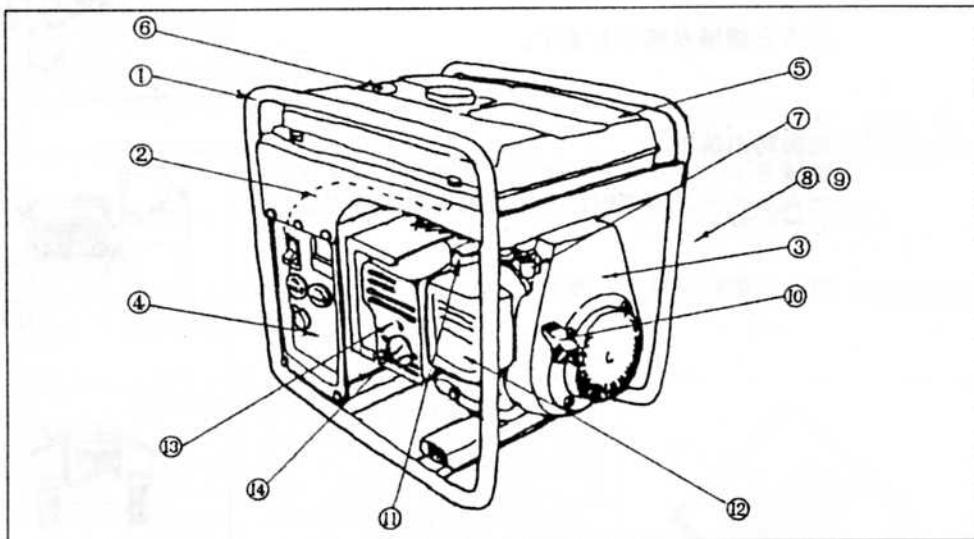


1. 各部の名称

1-1 外観と各部の名称

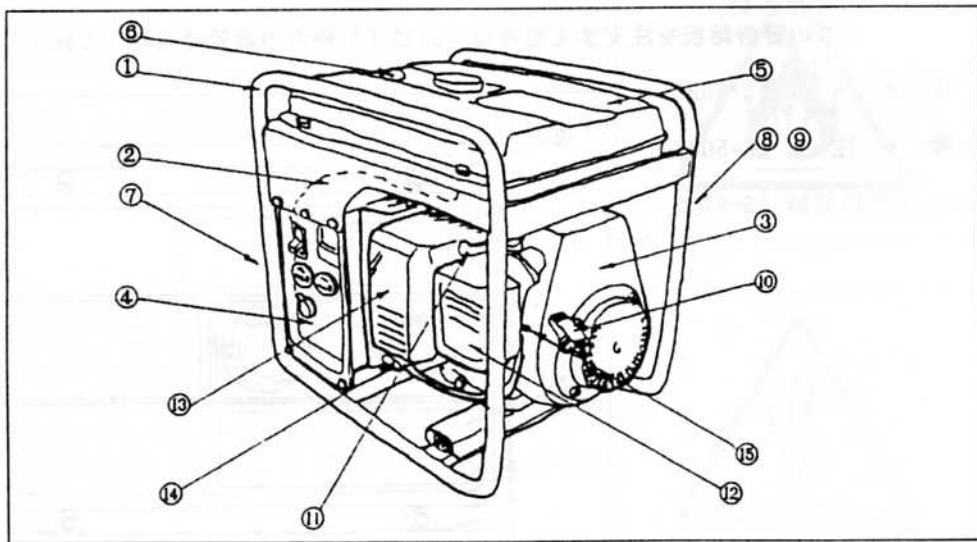
(1) GRX-1600A, GRX-2300

- | | | |
|-----------|------------------|-----------|
| ① パイプフレーム | ⑥ 燃料ゲージ | ⑪ チョークレバー |
| ② 発電機 | ⑦ 燃料フィルタポット | ⑫ エアクリーナ |
| ③ エンジン | ⑧ オイルゲージ (裏側) | ⑬ マフラ |
| ④ 操作盤 | ⑨ オイルドレンプラグ (裏側) | ⑭ 排気口 |
| ⑤ 燃料タンク | ⑩ リコイルスタータノブ | |



(2) GRX-2703

- | | | |
|-----------|------------------|-----------|
| ① パイプフレーム | ⑥ 燃料ゲージ | ⑪ チョークレバー |
| ② 発電機 | ⑦ 燃料フィルタポット | ⑫ エアクリーナ |
| ③ エンジン | ⑧ オイルゲージ (裏側) | ⑬ マフラ |
| ④ 操作盤 | ⑨ オイルドレンプラグ (裏側) | ⑭ 排気口 |
| ⑤ 燃料タンク | ⑩ リコイルスタータノブ | ⑮ 調速レバー |

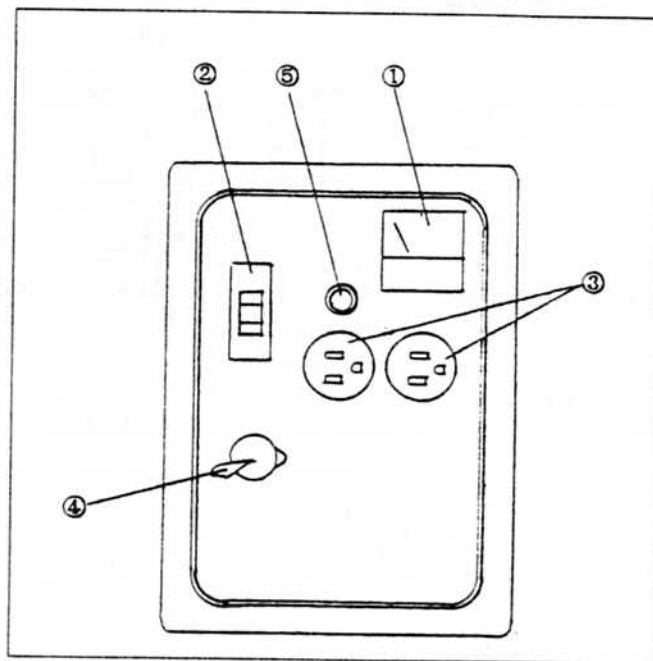


1-2 操作盤と各部の名称

- ① 交流電圧計
- ② 遮断器

- ③ コンセント
- ④ エンジンストップスイッチ

- ⑤ 油量警報灯

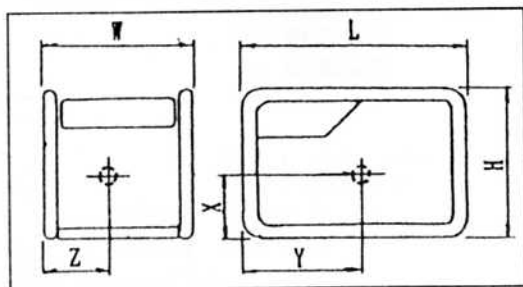


2. 運搬、設置

2-1 機械の運搬について注意

作業現場から機械搬出する場合には、必ずトラック等に積み込んで搬出してください。

- この機械の寸法は、以下の通りです。
 GRX-1600A = L:490mm, W:380mm, H:480mm.
 GRX-2300 = L:500mm, W:380mm, H:490mm.
 GRX-2703 = L:500mm, W:380mm, H:490mm.



整備質量は、以下の通りです。

- GRX-1600A = 50kg.
- GRX-2300 = 55kg.
- GRX-2703 = 58kg.

重心位置は以下の通りです。

- GRX-1600A = X:約190mm, Y:約220mm, Z:約190mm.
- GRX-2300 = X:約190mm, Y:約220mm, Z:約190mm.
- GRX-2703 = X:約200mm, Y:約250mm, Z:約210mm.

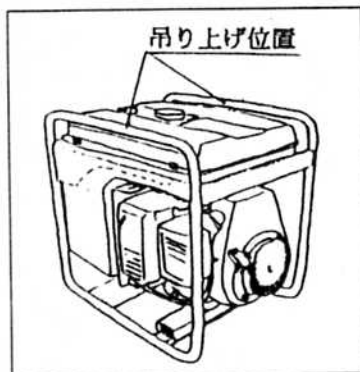


注意

吊り上げ時の落下

- 機械の吊り上げは、パイプフレームの右図の箇所を使用してください。
- 吊り具は、吊り上げ時の荷重に十分に耐えられるものを使用し、吊り上げ時に滑らないように適切な処置を施してください。
- 吊り上げ時には、まず機械を10cm程吊り上げほぼ水平になっていることを確認してから吊り上げてください。
- 吊り上げた機械の下に入らないでください。

怠ると機械が落下します。

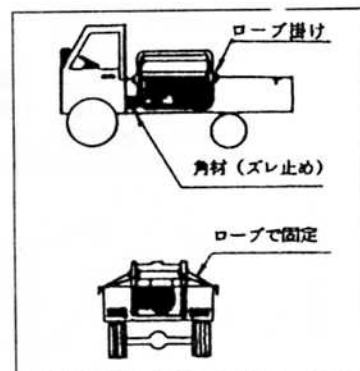


注意

運搬時の落下

機械をトラックなどで運搬する時は、パイプフレームをロープ等で固定して機械を動かさない様にして下さい。

怠ると機械が落下します。



2-2 機械の設置上の注意



危険

排気ガスによる中毒

エンジンの排気ガス中には人体に有害な成分が含まれています。トンネル、屋内など、通気の悪い所で運転しないでください。運転する場合は換気装置などを使い十分な換気を行ってください。また絶対に通行人、民家などに排気を向けない事。

もし怠ると酸欠あるいは、有毒ガスにより重傷もしくは死亡することがあります。



(1) 次のような場所を選んで設置してください。

(イ) 水平な場所でお使いください。やむを得ず、傾斜地で使用する場合は、許容傾斜角度は、前後左右ともに±5°迄です。適当な滑り止めを施してください。尚、車輪付きの場合は輪止めを行ってください。

【注意】：周囲に燃えやすい物（紙屑、木屑など）や、危険物（油脂類、火薬など）があったら排除して作業を行ってください。

【注意】：溶接作業場所の周囲に保護幕などを設置し、アーク光やスパッタの飛散を防いでください。

(ロ) 高温、多湿の様な場所はさけてください。

(ハ) 周囲温度が40℃を越える様な場所での使用はさけてください。

(ニ) “ホコリ”が多い場所、有害ガスや爆発性のあるガスが含まれる場所での使用はさけてください。また、周囲の燃えやすい物をさけて設置してください。

(ホ) 溶接のスパッタや、グラインダー（サンダー）の火花などが発電機の吸排気口に入らない場所に設置してください。

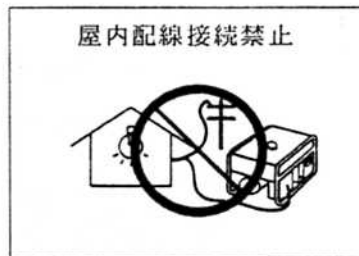
(ヘ) 2段積みはできません。

(ト) 当製品は車両走行中及び吊り上げ時の運転は絶対に行わないでください。

【禁止事項】

(1) 屋内配線接続禁止

- 発電機の交流電源は屋内配線に接続しないでください。
- 屋内配線への接続は、法規に触れるばかりでなく屋内配線及び発電機の破損の原因となります。



(2) 雨中使用禁止

- 発電機及び電装品などに雨水がかかり、故障する恐れがあります。
- 同様に、発電機内部の水洗いもさけてください。
- 雨中では使用しないでください。



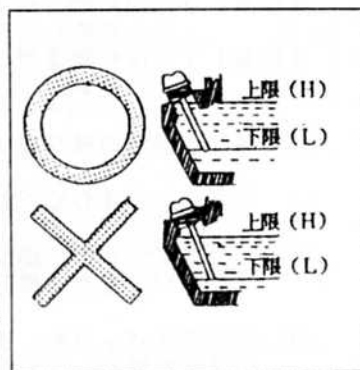
3. 運転方法

3-1 始業前点検

始業前には、以下の点検を行ってください。

(1) エンジンオイル量の点検

オイル量の点検はエンジンを水平にして、オイルゲージを注入口に当て（ねじ込まないで）調べます。その時、油量がレベルゲージH～Lレベル範囲内にあることを確認してください。少なければ補充してください。また、同時にオイルの汚れ点検してください。



【注意】：機械を傾けた状態でオイルを入れると規定量より多く入ったり、逆に少なかったりします。オイルを入れすぎるとオイル消費が多くなったりオイルの温度が上がり有害です。オイルが少ないとエンジンが焼き付くことがあります。必ず機械を水平にしてオイルを補給してください。

エンジンオイルについて

エンジンオイルは、エンジンの性能、始動性や寿命などに重大な影響を及ぼしますので、ご使用地の気温に最も適した粘度のエンジンオイルをご使用ください。
(イ) APIサービス分類のSC級以上をご使用ください。

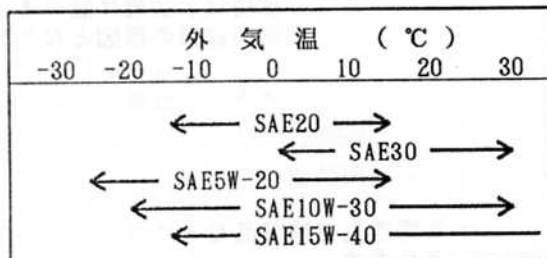
(ロ) 夏は夏用オイル(SAE30)、冬は冬用オイル(SAE20)を又、温度の変化で粘度の変わりにくい、オールシーズン用オイル(SAE10W-30)のご使用をお奨めします。右下の表に従い使い分けてください。

(ハ) 交換総油量は以下の通りです

エンジンオイル (L) 第1表

	油量	有効油量
GRX-1600A	0.60	0.35
GRX-2300	0.65	0.40
GRX-2703	0.63	0.33

SAE粘度と適用範囲



【注意】：オイルの交換作業後は、ドレーンプラグやオイルゲージを確実に締付けてください。

【注意】：異なったエンジンオイルを混ぜて使用すると、オイルの性状が悪くなる場合がありますので混用しないでください。

(2) 燃料量の点検



注意：火

災

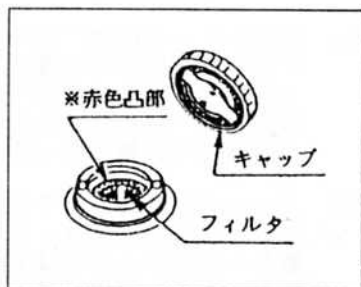
燃料、オイルなどは可燃物です。機械に火気を近づけたり、火花などが降りかかる所では、絶対に使用しないでください。
給油中のくわえタバコや、運転中の給油は絶対におやめください。

引火もしくは、発火し火傷の恐れがあります。



- ① 燃料が燃料レベルゲージ内に、十分に入っているか確認してください。
- ② 不足している場合には自動車用無鉛ガソリンを補給してください。

【注意】：燃料を入れる時は、ゴミ、水などの不純物が入らないよう細心の注意をし、必ずタンクキャップ内のコシアミを通して行ってください。
燃料入り口フィルタ内の赤色凸部よりやや控え目に入れてください。
給油時に燃料がこぼれたら始動前に必ず拭き取ってください。



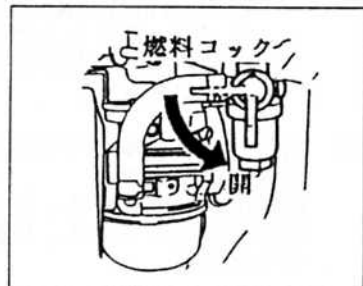
燃料タンク、規定量での連続運転可能時間は下記値を目安にしてください。

定格出力時連続運転可能時間(単位: Hr)

GRX-1600A		GRX-2300		GRX-2703	
50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
約15.0	約11.5	約10.5	約9.0	約9.5	約9.0

*燃料の補給は早めに行ないましょう。

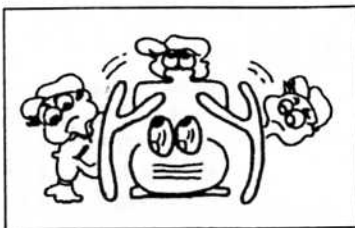
- (3) 燃料コックを開く。
レバーを真下に向けると燃料が通じます。
- (4) 各部配管の継手部の点検
配管接続部のゆるみや、オイル漏れ・燃料漏れがないかを点検してください。また、ホース類のすり切れがないかを点検してください。
異常がある場合には修理・交換してください。



3-2 始動及び運転

始動前には、機械の周囲1m以内に障害物がないことを確認してください。

周囲の人に合図してから始動してください。

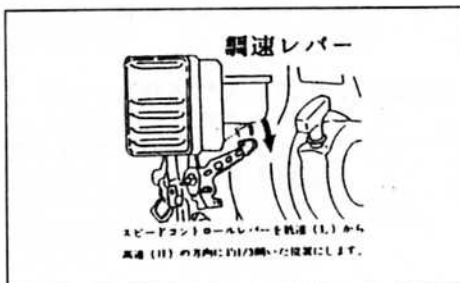


- (1) 遮断器が“OFF”になっていることを確認してください。

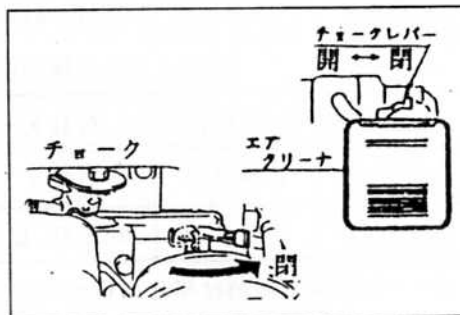
- (2) エンジンスイッチを“ON”の位置にします。



- (3) 调速レバーを低速“L”から高速“H”の方向に約1/3開いた位置にします。
(GRX-1600A, GRX-2300には调速レバーはありませんのでGRX-2703の場合のみ調整を行ってください。)

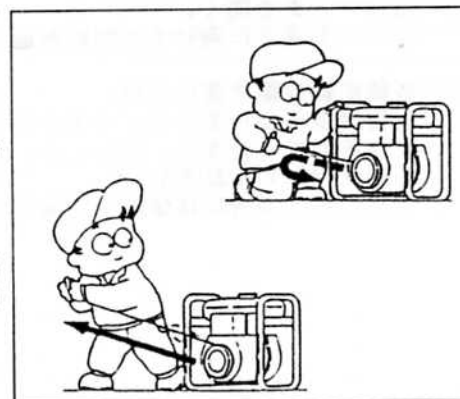


- (4) チョーク弁は次のように操作します。
(イ) 寒いときの使用又は、エンジンの冷えている状態から始動する場合は全閉にします。
(ロ) 暖かいときの使用又は、運転停止直後の暖まったエンジンを再始動する場合は、全開にして始動します。もし始動しない場合は、半開にして始動してください。



【注意】：リコイルスタータのノブの引張り長さは、GRX-1600A, GRX-2300で約1.3m GRX-2703で約1.1mです。引っ張るときには、機械や障害物などに手が当たらないのを確認してから引っ張ってください。

- (6) 始動したら、ゆっくりとスタータのノブを元の位置に戻します。
始動後チョーク弁は、エンジンの調子を見ながら徐々に開いてゆき、最後には、必ず全開にしてください。



【注意】：機械の運転中には、スタータのノブを絶対に引っ張らないでください。エンジンが故障する事があります。

- (7) 5分以上暖機運転を行ってください。

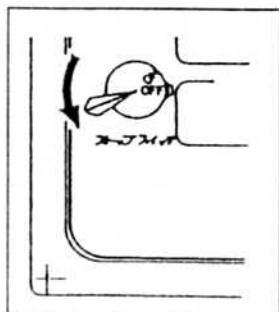
- (8) 调速レバーを徐々に高速側にし、必ずレバーがストッパーに当たったところで確実に固定してください。(GRX-2703のみ)

- (9) エンジンの速度調整は必ず调速レバーで行なってください。
また、空吹かしを繰り返し行なわないでください。(GRX-2703のみ)

- (10) エンジン、発電機に異常音がないか、異常な匂いがないか確認してください。

3-3 停止

- (1) 作業が終了したら、遮断器を“OFF”にしてください。
- (2) 調速レバーを低速の位置にしてください。
(GRX-2703のみ)
- (3) しばらく(2~3分)無負荷で冷氣運転をしてください。
- (4) エンジンスイッチを“OFF”の位置にします。



- (5) エンジンスイッチを“OFF”の位置にしてもエンジンが停止しない場合は、燃料コックを閉じて停止させてください。

【注意】：作業をしたままの状態ですぐにエンジンを止めないでください。
エンジンの温度が急激に高くなり、エンジンが焼き付くことがあります。

- (6) 燃料コックを閉じてください。レバーを真横にすると燃料カットされます。

3-4 停止後

- (1) コンセントなどは、外してください。
- (2) 燃料タンクに燃料を補給しておいてください。燃料タンク内の燃料が少なくなった状態で放置すると、燃料が蒸発して水滴が付着し、燃料タンク内に水がたまりやすい状態になります。
- (3) 各部締付ボルト、ナットのゆるみを点検し、ゆるみがあれば増締めをしてください。
- (4) 機械を野ざらしにしないで、シート等をかぶせ湿気の無い場所に保管してください。

3-5 保護装置

この機械には、油量警報灯が装備されています。エンジンオイルが規定量以下になると警報灯が点灯しエンジンは自動的に止まります。(停止後、警報灯は消灯します。)再始動させると警報灯が点灯しエンジンが停止します。オイルを補給してから再始動してください。

5. 定期点検と整備

注意: 火

傷

運転中又は、停止直後などに、高温となるエンジン本体や、マフラ周辺の高熱部には絶対に手を触れないでください。

また、運転中オイルゲージをはずしますと、高温のエンジンオイルが吹き出します。

機械の点検、整備は、必ずエンジンを停止してから行ってください。

もし怠りますと火傷します。



廃液などの処理

機械から廃液を抜く場合は、容器に受けてください。

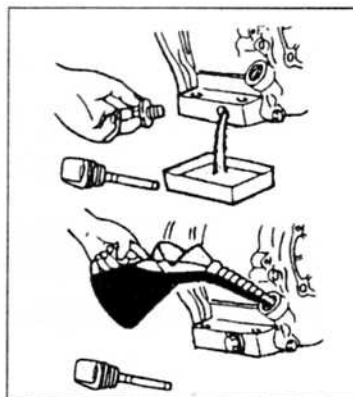
- 油、燃料、冷却水（不凍液）、フィルタ、バッテリーその他の有害物を捨てる時は、所定の規則に従ってください。
- 地面へのたれ流しや河川、湖沼、海洋への廃棄はしないでください。
- 廃液は不用意に捨てないでください。環境を破壊します。

5-1 初回の20時間の点検と整備

(1) エンジンオイルの交換

初回のみ20時間とし、2回目以降は50時間ごと。
(オイルの受け皿を用意してください。)

- ① エンジンがまだ暖かいうちにドレーンプラグをはずし、オイルを抜出してください。エンジン脚にドレーンプラグが設けてあります。
- ② 新しいエンジンオイルをオイル注入口から入れます。オイルゲージの上限まで入れてください。
(指定のエンジンオイル P-8, 第1表に従って交換してください。)



5-2 50時間ごとの点検と整備

(1) エンジンオイルの交換

(2) エアクリーナエレメントの清掃

- ① エアクリーナのフタを外し内部のエレメントを取り出します。(エレメントはポリウレタンスポンジです。)
- ② エレメントを白灯油できれいに洗い、エレメントを乾燥させます。その後新しい混合油(エンジンオイル:白灯油=1:3)に浸し、手で固く絞って取り付けます。エアクリーナのフタは、クリップをした後、フタが外れないことを確かめてください。

エアクリーナエレメント部品番号

GRX-1600A, 2300 : 06020 46396

GRX-2703 : 06020 46375



【注意】 清掃時に、エレメントの損傷の有無を確かめ、損傷があれば交換してください。

エアクリーナ取付時には、ゴミやホコリが入らないようにしてください。

汚れがひどくなると空気の流通が悪くなり、出力が低下し、燃料、エンジンオイルの消費が多くなり、この他始動不良などの故障原因になります。

定期的に手入れをしてください。

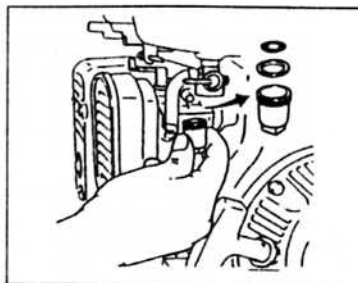
5-3 200時間ごとの点検と整備

(1) 燃料ストレーナの清掃

燃料ストレーナからフィルタポットを外して、内部の金網を清掃してください。

燃料ストレーナ部品番号

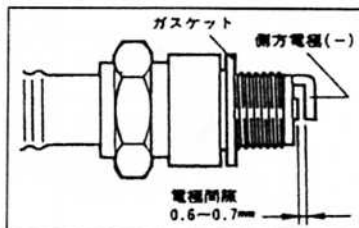
GRX-1600A, 2300	: 06055 10023
GRX-2703	: 06055 10057



(2) 点火プラグの点検、清掃

① カーボンをプラグクリーナ、又は、ワイヤブラシで清掃してください。(ヤスリ等は使用しないでください。)

② 火花間隙は0.6~0.7mmにしてください。始動不良、運転中の失火は点火プラグの火花間隔が大きすぎる場合や、点火プラグが汚れたときに起こります。



指定点火プラグ	GRX-1600A	NGK製B6ES
	GRX-2300	NGK製B6HS
	GRX-2703	NGK製BP6HS

5-4 500時間ごとの点検と整備

(1) シリンダヘッドの取付けボルトの増締め
(指定サービス工場持ち込み)

(2) 気化器の点検

アイドリングが続かなかったりオーバーフロー(気化器から燃料が溢れること)したり、回転変動が激しいときは、気化器の点検又は、調整が必要です。

(指定サービス工場持ち込み)

調整について

気化器は工場出荷時に調整されていますので、後から調整する必要はありません。

(3) 吸排気弁スキマの調整・吸排気弁座の点検すり合せ、ピストンリングの交換
(指定サービス工場持ち込み)

5-5 その他の点検と整備

燃料パイプの交換

使用頻度に関わらず、燃料パイプは2年で交換してください。交換期間年数内でも、パイプが劣化していたら即交換してください。燃料漏れの原因になります。

(指定サービス工場持ち込み)

5-6 機械の点検

油よごれ、ホコリ等が無い、ボルト・ナット等のゆるみがないか点検してください。内部のホコリ等は圧縮空気で吹き飛ばしてください。

[注意] : この発電機の回転数は、定格負荷時50Hz仕様の発電機で3000min⁻¹、60Hz仕様の発電機で3600min⁻¹になるよう調整されておりますので、エンジンの回転調整のストップ位置を変えないでください。

定期点検整備一覧表

◇印は点検・清掃、●印は交換、★印は初回の交換

点検・整備項目	日常 点検	20 時間	50 時間	200 時間	500 時間	1000 時間
油、燃料漏れの点検	◇					
配管接続部のゆるみ、ホース類のすり切れ等の点検	◇					
配線接続部のゆるみ、配線のすり切れ等の点検	◇					
各計器の作動状態・警報ランプの点検	◇					
エアクリーナエレメントの清掃			◇	ほこりの多い場所で運転する時は、早めに清掃する。		
エンジンオイル量、汚れの点検	◇					
燃料量の点検	◇					
燃料タンク内の汚れの点検・清掃					◇	
エンジンオイルの交換		★	●			
燃料ストレーナの清掃				◇		
点火プラグの点検・清掃				◇		
※気化器の点検・清掃					◇	
※シリンダヘッドボルト増締め					◇	
※吸排気弁座点検すり合せ					◇	
※バルブクリアランスの点検					◇	
※オーバーホール					●	●

(注) ※印の項目については、指定サービス工場にご相談ください。

6. 故障の原因と対策

各部の故障原因と対処処置

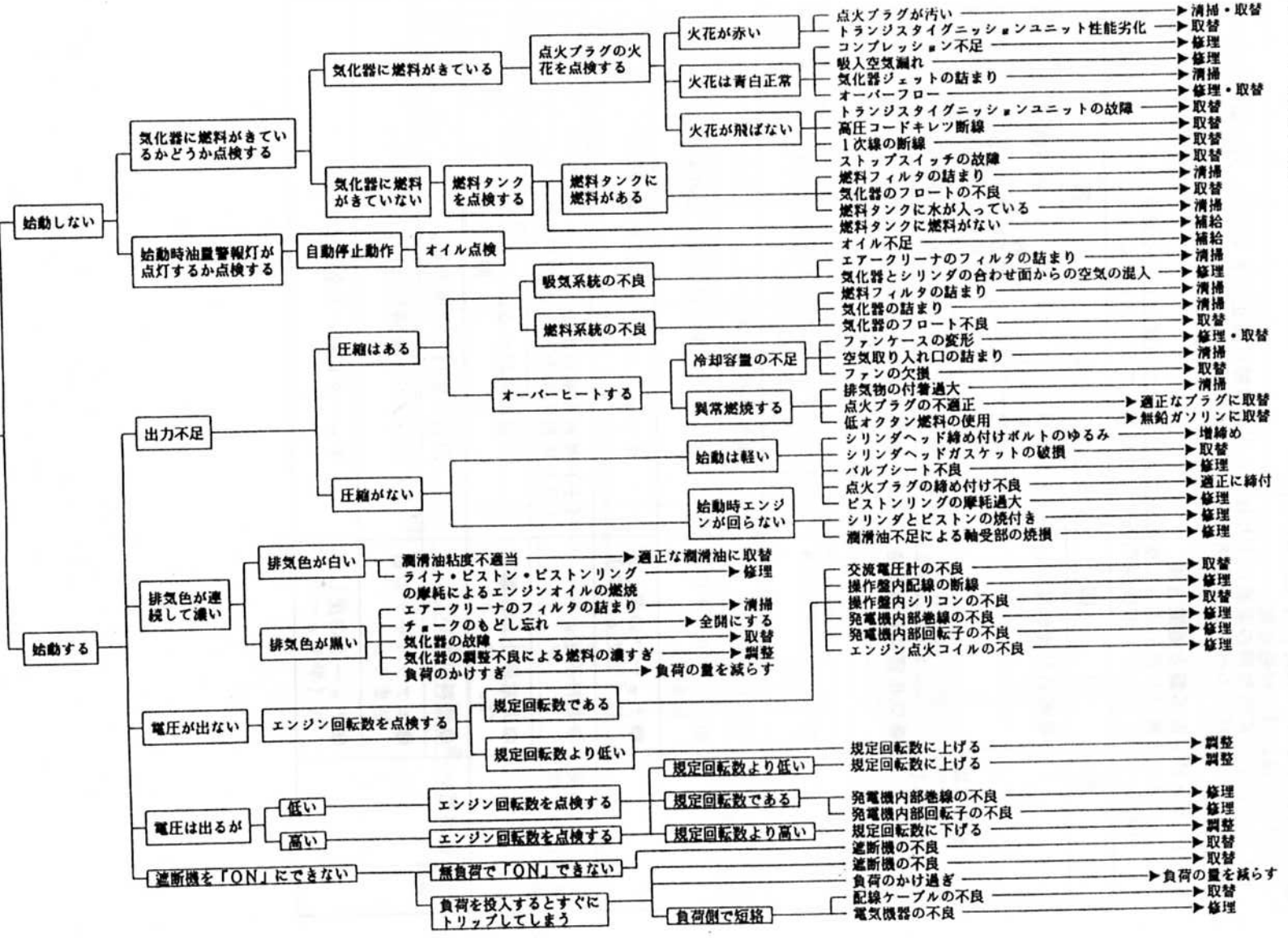
正しい取扱いと点検整備の実施によりほとんどの故障は防止できますが、万一故障が生じた場合は、下表及び次のページを参考にしてください。

6-1 エンジンの不調と処置方法

エンジンの調子が悪い場合、次の表により適切な処置をしてください。
(詳しくは、エンジン取扱説明書により処置してください)。

現象	原因	処置
始動困難な場合 (又は始動しない)	● 燃料が流れない。	(1) 燃料タンク・燃料フィルタを点検し、沈澱している不純物や水分を除く。 (2) 使用する燃料は、ある程度フィルタでこされる為、フィルタには不純物や沈澱物が付着しやすいので付着物があればフィルタを清掃する。 (3) 燃料フィルタコック内の不純物も清掃する。
	● 化器に燃料がきていない	(1) 燃料ストレーナコックが開いていない。
	● 化器に燃料がきている	(1) 点火プラグが汚いか火花が飛ばない。 (2) 点火コイルの不良。
エンジン出力不足の場合	● 燃料不足。	燃料系統を点検する。
	● エアクリーナの目詰まり。	エレメントを清掃又は、交換する。
	● チョークの戻し忘れ(半チョーク)	チョークレバーを全開にする。
エンジンが突然停止した場合	● 燃料不足。	(1) 燃料を補給する。 (2) 燃料系統を調べる。
	● 非常停止が作動した。	油量を確認する。
排気色が悪い場合	● 燃料が悪い。	良質の燃料と交換する。
	● エアクリーナの目詰まり。	エレメントを清掃又は、交換する。
	● チョークの戻し忘れ(半チョーク)	チョークレバーを全開にする。

エンジン始動



7. 機械の長期保管

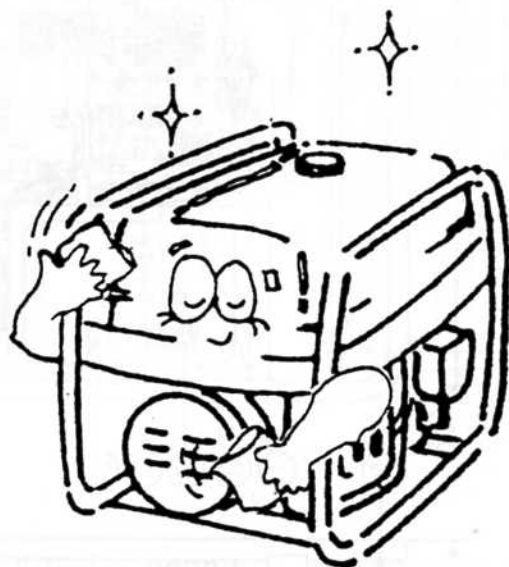
機械をいつまでも調子良くご使用いただくために、次の項目を実施してください。

- (1) 燃料ストレーナのフィルタポットをはずしタンクの燃料を全部抜いてください。ついでに燃料ストレーナ内の金網を清掃してください。
- (2) 気化器のドレイン用ネジをゆるめ気化器内の燃料を全部抜いてください。
- (3) 点火プラグを外し、点火プラグ穴からエンジンオイル約5cc注入してください。
- (4) リコイルスタータの始動ノブを静かに2~3回引き、点火プラグを取り付け圧縮のある位置で止めてください。
- (5) エアクリーナエレメントの汚れを清掃してください。
- (6) 機械を野ざらしにしないで、シート等をかぶせ、湿気の無い場所に保管してください。

その他

油漏れ、燃料漏れがないか、また、ボルト・ナット等のゆるみがないか点検してください。

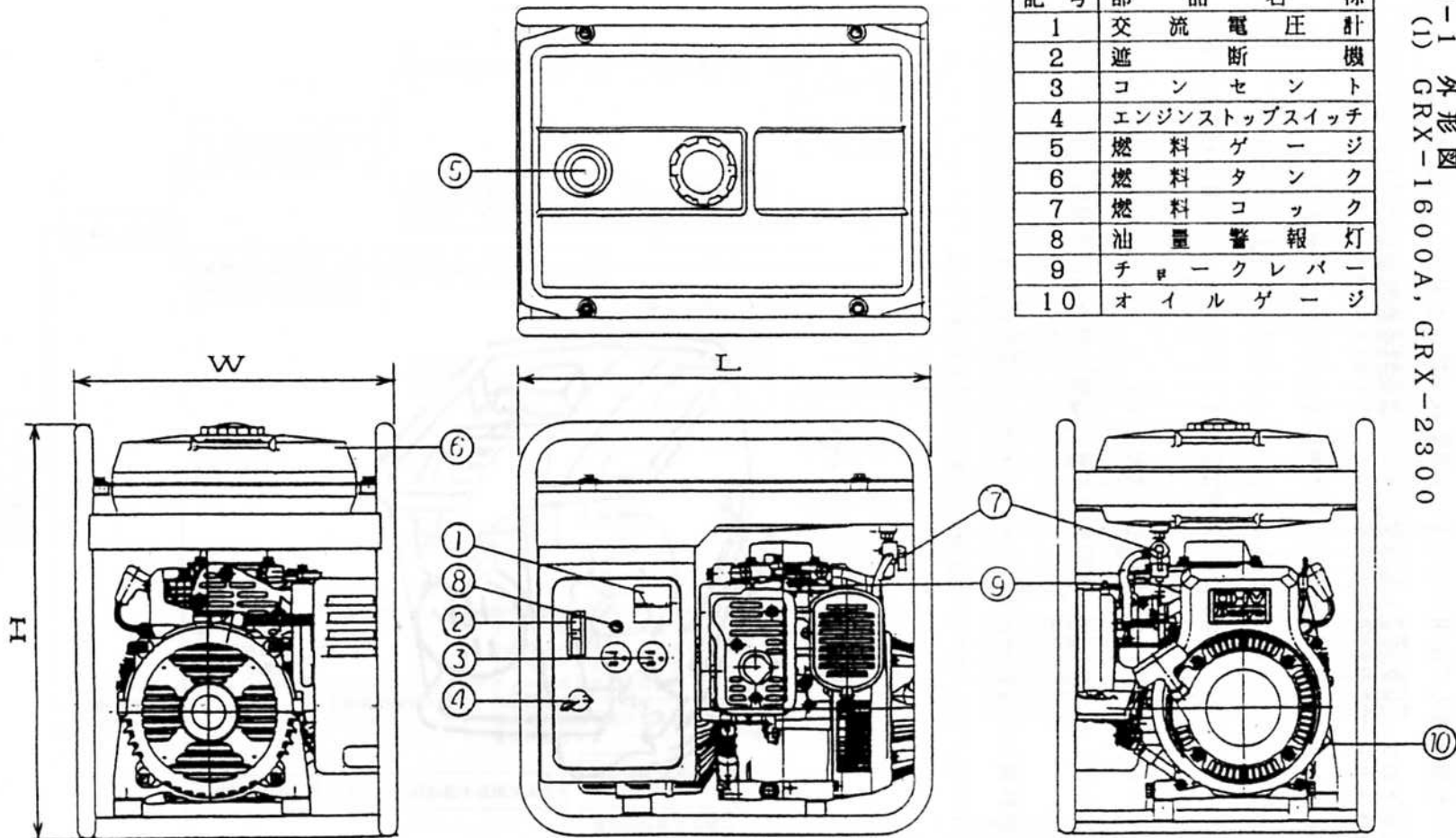
『エンジンについては、エンジン取扱説明書をご覧ください。』



8. サービスマニュアル

8-1 外形図 (1) GRX-1600A, GRX-2300

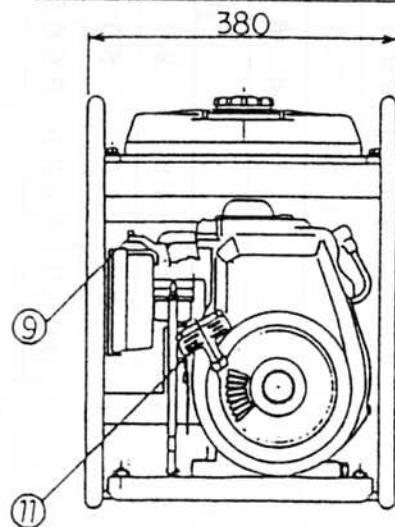
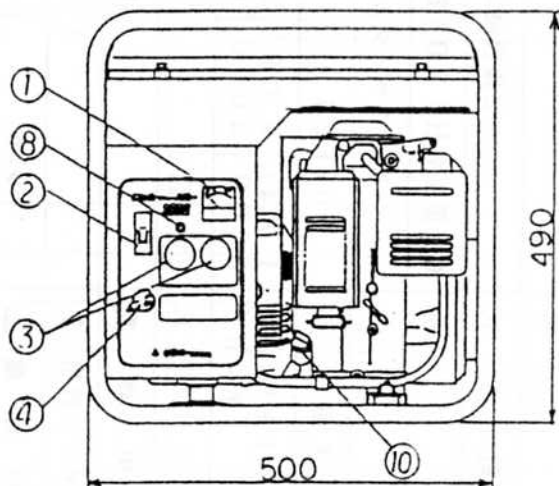
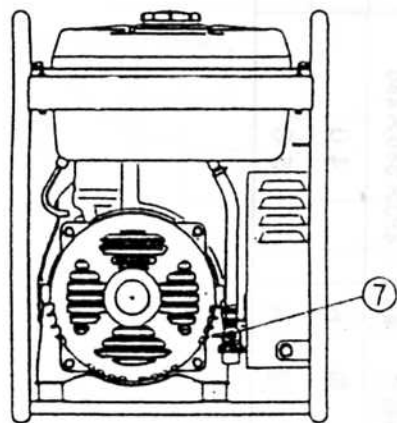
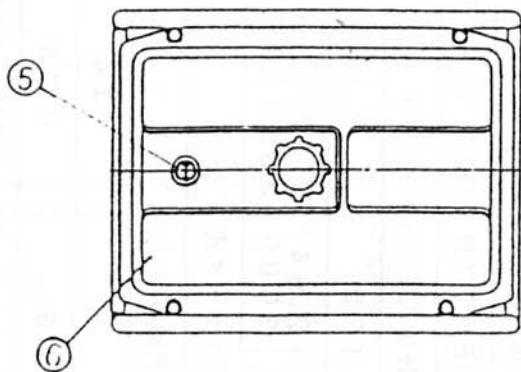
記号	部品名称
1	交流電圧計
2	遮断機
3	コンセント
4	エンジンストップスイッチ
5	燃料ゲージ
6	燃料タンク
7	燃料コック
8	油量警報灯
9	チェックレバー
10	オイルゲージ



機 種	外形 寸 法 (mm) ・ 質 量 (kg)			乾燥質量	整備質量
	L (長さ)	W (幅)	H (高さ)		
GRX-1600A	490	380	480	40	50
GRX-2300	500	380	490	45	55

この外形図はGRX-1600Aを示す

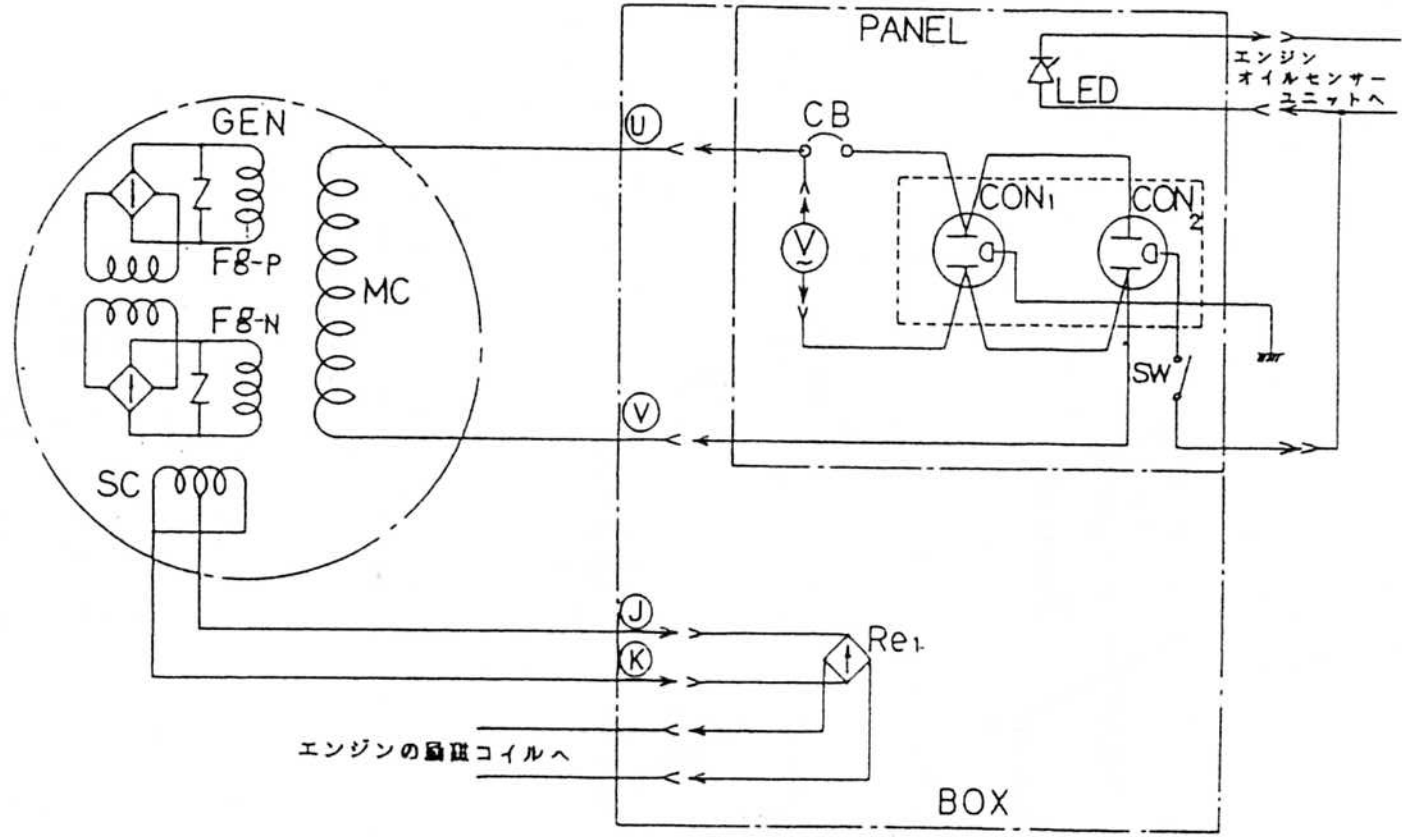
記号	部 品 名 称
1	交 流 電 圧 計
2	遮 断 機
3	コ ン セ ン ト
4	エ ン ジ ン ス ト ッ プ ス イ ッ チ
5	燃 料 ゲ ー ジ
6	燃 料 タ ン ク
7	燃 料 コ ッ ク
8	油 量 警 報 灯
9	チ ョ ー ク レ バ ー
10	オ イ ル ゲ ー ジ
11	調 速 レ バ ー



機種	乾燥質量 (kg)	整備質量 (kg)
GRX-2703	47	58

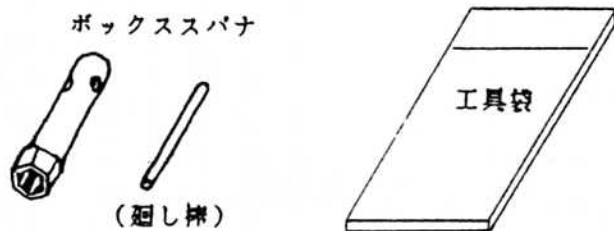
8-2 主要諸元

総合形式		GRX-1600A		GRX-2300		GRX-2703	
電気用品承認番号		▽96-200	▽96-199	▽96-200	▽96-198	▽96-206	▽96-198
発	定格出力 kVA	1.3	1.6	2.0	2.3	2.2	2.6
	相数	単相2線式					
電	定格電圧 V	100					
	定格電流 A	13	16	20	23	22	26
	定格周波数 Hz	50	60	50	60	50	60
	定格回転数 min ⁻¹	3000	3600	3000	3600	3000	3600
機	力率	1.0					
	定格	連続					
	励磁方式	2極自励式回転界磁型新ブラシレス方式					
エンジン	名称	富士重工EH12D		富士重工EH17D		久保田 GH170	
	型式	空冷4サイクル立型OHV式ガソリンエンジン					
	総排気量 L	0.121		0.172		0.169	
	定格出力 kW/ min ⁻¹	1.84/ 3000	2.06/ 3600	2.57/ 3000	2.94/ 3600	2.72/ 3000	3.16/ 3600
	始動方式	リコイルスタータ式					
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン					
	燃料タンク容量 L	12				14	
	潤滑油量 L	0.6		0.65		0.63	
寸法:長さ×幅×高さ mm	490×380×480		500×380×490		500×380×490		
乾燥質量 kg	40		45		47		
整備質量 kg	50		55		58		



記号	名称	記号	名称
MC	電機子巻線	V	交流電圧計
Fg-P, N	界磁巻線	CON	コンセント
Re	シリコン整流器	LED	発行ダイオード
CB	遮断器	SW	エンジンストップスイッチ

8-4 付属品



サービスネットワーク

●リョービパワーツールのご相談は、お買い求めの販売店もしくは、下記最寄りのリョービ販売営業所へお気軽にお問い合わせください。

北海道地区

札幌営業所 ☎<011>812-3751
函館営業所 ☎<0138>49-4988

北海道具営業所 ☎<011>841-2003
旭川営業所 ☎<0166>32-8561

東北地区

仙台営業所 ☎<022>237-6231
盛岡営業所 ☎<0196>46-8911
山形営業所 ☎<0236>42-9552

青森営業所 ☎<0177>29-0465
秋田営業所 ☎<0188>63-4177
郡山営業所 ☎<0249>59-2670

関東地区

東京北営業所 ☎<03>3927-5571
国立営業所 ☎<0425>74-8131
前橋営業所 ☎<0272>54-0022
小山営業所 ☎<0285>24-7962
茨城営業所 ☎<0299>24-2631
厚木営業所 ☎<0462>48-6724
柏営業所 ☎<0471>76-3671

東京神田営業所 ☎<03>3255-2905
埼玉営業所 ☎<048>624-4605
太田営業所 ☎<0276>46-8716
宇都宮営業所 ☎<028>624-6862
横浜営業所 ☎<045>921-5252
千葉営業所 ☎<043>232-4311

甲信越地区

新潟営業所 ☎<025>275-3321
長野営業所 ☎<026>244-3595
甲府営業所 ☎<0552>43-2411

長岡営業所 ☎<0258>32-0856
松本営業所 ☎<0263>26-8699

東海地区

名古屋東営業所 ☎<052>807-1631
小牧営業所 ☎<0568>75-6781
岐阜営業所 ☎<058>271-7550
松原営業所 ☎<0598>51-9022
浜松営業所 ☎<053>441-3360

名古屋西営業所 ☎<052>443-8711
三河営業所 ☎<05304>25-2381
四日市営業所 ☎<0593>31-3426
静岡営業所 ☎<054>246-6907
沼津営業所 ☎<0559>76-4560

北陸地区

金沢営業所 ☎<0762>68-7516
福井営業所 ☎<0776>21-4037

富山営業所 ☎<0764>22-1920

近畿地区

高槻営業所 ☎<0726>81-3661
和歌山営業所 ☎<0734>72-8074
堺営業所 ☎<0722>70-1556
滋賀営業所 ☎<0748>36-7846
神戸営業所 ☎<078>924-8050

大阪営業所 ☎<06>912-7731
奈良営業所 ☎<07436>4-2721
京都営業所 ☎<075>612-5011
福知山営業所 ☎<0773>27-0533
姫路営業所 ☎<0792>88-0755

中国地区

広島営業所 ☎<082>823-1733
岡山営業所 ☎<086>241-2581
防府営業所 ☎<0835>22-6448
鳥取営業所 ☎<0857>22-1071

千代田営業所 ☎<082672>-5321
福山営業所 ☎<0849>43-5656
米子営業所 ☎<0859>34-7271

四国地区

松山営業所 ☎<089>956-3330
高知営業所 ☎<0888>66-2628

高松営業所 ☎<0878>65-8101
徳島営業所 ☎<0886>64-3317

九州地区

福岡営業所 ☎<092>623-5010
北九州営業所 ☎<093>561-7206
長崎営業所 ☎<0958>39-5466
大分営業所 ☎<0975>21-3308
鹿児島営業所 ☎<099>266-0373

久留米営業所 ☎<0942>44-1615
佐賀営業所 ☎<0952>26-5656
熊本営業所 ☎<096>365-7311
宮崎営業所 ☎<0985>24-1070
沖縄営業所 ☎<098>875-2850

<1996年4月現在>

RYOBI

リョービ販売株式会社